阪口　ありがとうございました。大体結論が出たような感じになってしまいました。（会場　笑）

第二部　討論

阪口　質問も兼ねて討論を深めていきたいと思います。この学校は最初に「安倍晋三記念小学校」だと語られた。実際はその資料はないんですが、菅野さんにお聞きしたい。本当に安倍晋三小学校という看板なり、寄付集めていたのかどうか。

菅野　いや、集めてましたよ。（会場　笑）これですね。これ、「記念小学校設立に向けて」って平沼赳夫さんの顔写真と一緒に、振込票があります。払込取扱票に「大変あつかましいお願いでございますが、2口以上（1口1万円）のご寄付をお願いいたします。なお、ご寄付を賜りました方には、安倍晋三記念小学校の寄付者名簿にお名前を刻印し、顕彰させていただきます」と書いてある。

阪口　本当だ。ありがとうございます。これ、ホームページか何かに貼られてる？

菅野　いや、貼られてないです。これは僕が保護者の方からお借りした資料です。

阪口　これが証拠ですね。ぜひ、公表していただきたいと思います。
この問題は安倍昭恵さんが校長になって、重要な役回りを果たしているんですが、安倍昭恵さんは財務省やいろんなところでどういう役割を果たしているのか。

菅野　僕、さっき、「全自動忖度機」と言いました。安倍昭恵さんの顔色をうかがう。この間から、元 TBS の山口敬之さん（官邸担当記者）の事件（女性への強姦事件）で北村滋さんという官邸の秘書官の存在がクローズアップされてますけど、もう一人、官邸に有力な今井さんという秘書官がいるんですね。今井さんは経済産業省の役人なんです。最後、エネルギー庁の長官一歩手前だった、経済産業省の中で出世された優秀な方なんですけれども、彼が官邸を取り仕切っているんです。僕が官邸の職員の人に話を聞いたら、今、官邸の中に昭恵さんの部屋があるらしいんです。第 2 次安倍政権以前はなかったんです。

会場からの質問に答えて

阪口　（笑）、それはひどいな。

菅野　昭恵さんのオフィスがあって、昭恵さん付の秘書が常勤と非常勤合わせて 6 人いるらしいんですよ。谷査恵子さんは、今井さんが経済産業省から引っ張ってきた人です。今井さんが巧妙なのは、引っ張ってくる秘書官役の人が皆、ノンキャリアなんですよ。要は、汚れ仕事をさせて傷がついても出身官庁には傷がつかないようになってるんですね。谷さんも東大卒業ですけど、あの人、昔でいう国Ⅰ（国家公務員試験1種）を通ってらっしゃいませんのでノンキャリ採用ですよね。谷さんはめちゃめちゃ優秀らしいんですよ。昭恵さんに一生懸命尽くされる人が 6 人ぐらいいらっしゃる。その人たちが自分たちの出身官庁と連絡を取り合って昭恵さんが拾ってくる陳情、要請を処理しているということですよね。

阪口　官邸のほうは、安倍昭恵の公務員の秘書が手紙をやり取りしたことを、「勝手にやったんだ」と、言っていますが、国会での答弁ではどうですか。宮本さん。

官邸に昭恵さんの部屋

宮本　安倍昭恵さんが公人か、私人の立場かという議論がありますけど、安倍昭恵さんが 24 時間、全部公人であるとは言いませんが、少なくとも、この事件にかかわった安倍昭恵さんのやったことは首相夫人としてやったことであり、職員がついてやったことなんです。それで、谷査恵子という安倍昭恵さん付の職員は、常日頃から官邸の封筒を使って、「安倍昭恵夫人付き、谷査恵子」というかたちで籠池さんとのやり取りもやっていました。籠池さんからも封筒が提出されていますから、首相官邸の仕事としてやってたことは明瞭です。それから、田村嘉啓という国有財産審理室長との関係で、去年の 3 月 15 日にごみが出てきたとねじ込んで、1 時間半、財務省でやり取りして値引きが始まって売り払われた。この田村嘉啓と谷さんとの関係はどうであったか。田村嘉啓氏は、私のところになかなか来ませんでしたが、音源

データがついに表に出るということになって、私のとこにやってきたんです。そのときに 1 時間半ぐらい、田村本人から聞き取りました。谷査恵子さんから、田村嘉啓国有財産審理室長のところに電話がかかってきた。電話の用件は、「安倍内閣が 1 億総活躍ということで、女性を活躍させるために介護施設に、国有地を貸し付けている場合、その賃借料を 10 年間、半額に負けるという政策を森友学園に適用できないか」ということでした。籠池さんの願いであるということで谷さんが田村嘉啓に打診してきたと、こういう話でした。「でも、谷さんは、何者か名乗ったでしょう」と。「名乗りました」と。「何と名乗りましたか」と聞いたら、「安倍昭恵付の谷査恵子と申しますと述べた」と。「ということは、安倍昭恵さんのおつきの人から問い合わせだという認識はあったね」って聞いたら、「そら、そう名乗りましたから、そうだと思いました」と。話の中身が介護施設に適用されている、この借地料半額にする話を学校に適用できないかと尋ねてきたということでありましたから、「じゃあ、その案件は森友学園の案件だということは、あなた、ピンときたね」って聞いたら、「もちろん、ピンときました」と。だって、借地で学校、国有地を借りて学校を作る話は森友学園が初めてですから、その時点で学校にも適用というのは森友以外に言ってくることはありませんから。田村嘉啓は、もとから安倍昭恵さん関連で念頭にあって話が進んだ。あの答えのファックスもあった。翌年 3 月 15 日の面談はまさにあった。つまり、昭恵氏がここにかかわったことは明瞭だと言わなければならないと思います。

菅野 完(すがの たもつ)さん

阪口　この背景には「日本会議」があるという話が、菅野さんからも報告がありました。「日本会議」メンバーはどんな人物が入っているんですか。

菅野　これ、僕の本、(『日本会議の研究』) 売ってます。

阪口　本があるのか(笑)。みなさん、買ってくださいね。(会場　笑)

菅野　買われた？おおきに、ありがとうございました。(会場　笑、拍手)

菅野　ちょっと勘違いしたらあかんのは、籠池さんが「仮面ライダー」に出てくるショッカーのように「日本会議」の指示を受けて、ウィーッて言うて、あの学校作ったわけではないんです。(会場　笑)

菅野　「日本会議」という組織のドグマがあって、そのドグマに忠実に作ったわけではないんですね。「日本会議」という悪の組織があって、学校を作る計画をやっていたという、子どもでもわかるような話やったらいいんですけど、もっと恐ろしいなと思うのは、さっき言いましたように、籠池さんは「受けると思ってやった」というだけの話で、「日本会議」でやってることは、籠池さんをして、受けると思ってやったという、その時代の空気を作るのが、「日本会議」がやってることなんです。何が何でも安倍首相を支持する人はたくさんいてはりますよね。「株の値段さえ上がってたらええねん」とか、「雇用統計さえよかったらええねん」とか、いうて、株の値段もそう上がってないし、雇用統計もそうええことないんですけども、それでだまされてはる人、ぎょうさんいてはりますよね。その人たちが目をつぶってることが、たくさんありますよね。

メディアに影響を与える「日本会議」の手法

例えば、憲法改正の内容や、あるいは教育基本法の改正であるとか、それを「黙り得るものなんだ」というレベルまで、みんなを慣れっこにしてしまってるのは、「日本会議」がやってることだと思います。どうやってるかっていうと、櫻井よしこ、ケント・ギルバード、百田尚樹、これ、よく最近、「海外のメディアから日本会議って何ですか」と説明されて、どの国の人も膝を打つ話なんですけども、梅田の紀伊國屋もやってるかもわかりませんが、新宿の紀伊國屋の本店の 1 階のレジに行くと、大きな模造紙で「今週のベストセラー」って貼ってあるんですね。大体、1 位見たら、池田大作か大川隆法なんですよ。(会場　笑)

菅野　これ見て、世の中の人、誰一人として、ああ、大川隆法の本、よう売れてんねんなと思う人おらんでしょ。これは幸福の科学の人が組織で買ってはんねんな、池田大作の本が売れてたら、創価学会の人が組織で買って

はんねんな、そやから、1 位、2 位は、これはほんまのベストセラーちゃうねんなと思うじゃないですか。3 位見たら、百田尚樹が入ってるんですよ。これ、誰が買ってんねんて話ですよね。「日本会議」の人が買うてはるんですよ、創価学会の人らみたいに。ほんまに売れてるわけちゃうんですよ、これ、暗に俺の本もそうやって買え、言うてるんですよ。(会場　笑、拍手)

阪口　それは内容があるから買ってええね。(会場　笑)

菅野　ただ、その百田尚樹、ケント・ギルバード、櫻井よしこ、と並んでるベストセラーを見てみると、あたかもこういう論調が、今、世の中に受け入れられてるんだと思ってしまうじゃないですか。それを一般の皆さんが思われるのはしゃあないです。紀伊國屋はパブラインていうて、出版社、メディアの人間に今週どの本が売れたをデータで提供してるんです。恐ろしいのは、そのデータを見て、メディア側の人が、櫻井よしこって人気あんねんや、百田尚樹って人気あんねんやって勘違いしてしもてるんですよね。だから、何もしゃべられへんのに、百田尚樹が『朝まで生テレビ!』出てくるわけですよ。(会場　笑)

阪口徳雄弁護士(右)とアシスタントの愛須勝也弁護士(左)

菅野　で、何もしゃべられへんのに、櫻井よしこが、あの上品なしゃべり方してるだけで、ご意見番みたいな感じになるわけですよ。でも、その実、売れ方は大川隆法の本が売れたり、あるいは池田大作の本が売れたりしてるのと変わらんのです、メカニズムはね。なぜ、それに気づけないかっていうと、それは「日本会議」という組織が背後にあって、そういう人たちが組織的に買い支えてるんだってメカニズムをみんな知らないからですよね。これ、自分の本またほめてるんですけど。(会場　笑)

菅野　僕の本が出たから、今後は、そのペテンはもうとおらないと思ってるんですけども、一説によると、菅野が「日本会議」に火をつけたから、「日本会議」を使おうという機運がメディアの中にはあるみたいで、痛しかゆしやなと思てるんです。
(会場　笑)

阪口　これ、日本のブラック、裏が出てきつつあるんですが、「日本会議」は神道を主にやってるのに、何で創価学会が自民党と一緒にやるのか、という質問があるんですが、宮本さん、この点どうですかね。(会場　笑い)

政治は利害欲得で動く

宮本　政治の世界は、宗教で結びついているわけじゃないと思うんですよね、いわば利害欲得、損得勘定で動いておりますから、安倍内閣は公明党との関係でも、また、維新は公明党と全く同じように与党化しておりますから、そういうかたちで、われわれ「悪政三兄弟」と言ってますけども、(会場　笑)…
ひっついてるということだと思います。今の閣僚には、たくさん「日本会議」の議員が入っていますが、自民党という党が「日本会議」のようなイデオロギーを持ってるっていうわけじゃなくて、中には随分批判的に見ている方々もいっぱいいらっしゃると思います。

この人たちの目は右にゆがんでいる

宮本　もう一つ言っておきたいのは、この「日本会議」、「日本教育再生機構」という団体ですけど、2 月 26 日に意気投合したこの団体はずいぶん特異な考え持っているところでして、今、育鵬社の教科書を作ったところだという話がありました。この人たちの言っていること、この人たちの目というのは、ものすごく右にゆがんでるんですよ。
(会場　笑)

宮本　この人たちの論を聞いていると、世の中、教科書は全部左に偏ってると。(会場　笑)

宮本　つまり、育鵬社の教科書以外の東京書籍も何とかも全部左翼にいかれてるんだと。教科書の執筆者は全員左翼なんだと、だから、そんなものを子どもに使わしてるのは問題で、育鵬社の教科書をわざわざ作るわけですよ。この採択を広げなければ、子どもは左向いて全部ゆがんでいくんだと。次は学校、マスゴミとかいいまして、ごく一握りの特異なメディア以外は、全部左に、・・・

菅野　「産経新聞」て、ちゃんと言うといたほうがええんと違います？　(会場　笑)

宮本　最近では読売も名前をよく聞きますが。それ以外、全部、左翼にいかれていると見てるんですよ。そして、学校の教員も全部左翼にいかれてると。だから、塚本幼稚園が教育勅語教育で育てても、公立の学校いったら全部その芯が揺らいでしまうと、これは昭恵さんも言うてましたね。

菅野　そうです、そう言うてます。

宮本　だから、世の中、公立学校でやるってことは、皆、左に偏ってんだと。だから、左に偏らない小学校を作りたかったってことなんですね。あわよくば、中学校、高校、大学まで、教育勅語やり続ける子育てをやろうじゃないかっていうのが、これがこの人たちの考え方なわけ、籠池さんがどれだけそれに信奉したか別として、考え方としてはそういう考え方なんですよ。だから、世の中、そんだけ全部左に偏ってて、みんな共産党ばっかりやったら、そろそろ政権取ってもらわなあかん。（会場　笑）

討論の宮本岳志さんと木村真さん

菅野　そうです。そのとおりです。（会場　拍手）

宮本　何でこんだけ苦労するのかと思うんですが、しかし、誰もそうは思わんでしょ。（会場　笑）

宮本　そう見てるっていうことなんですね。それくらい時代錯誤、非常識な考え持ってるっていうのが、この人たちの考えだということをつけ加えておきたいと思います。

菅野　それはそうですけど…。

阪口　はい、菅野さんお願いします。

「日本会議」は女、子どもが嫌い

菅野　宮本先生がおっしゃったように、宗教じゃないんですよ。思想でもないんです。左翼が嫌いっていうメンタリティなんです。ほんまにそうなんですよ。もっとそれを突き詰めていくと、左翼でもないんです、女、子どもが嫌いって話なんですよ。女、子どもの理屈が嫌いなんです。これ、もう短くまとめますけども、皆さんも考えていただきたいんですけども、いわゆる皆さんが右っておっしゃる方々いるでしょ。あの人たちは、日本と韓国の問題があったら、韓国のことをだいぶ非難されるというイメージ、皆さんお持ちだと思いますけども、よう考えてください。あの人らが騒ぐの「慰安婦」問題だけでしょ

菅野　「日本会議」の周りの人ら見てると、「慰安婦」問題ばっかり気にしはるんですね。それは何でかっていうと、「慰安婦」問題というのは、まさに、女、子どもの問題やからですよ。何で彼らが教育に力を入れるかっていうと、教育は、女、子どもの現場だからなんです。女、子どもに自分たちの言うことを聞かせたいということなんです。これは、自民党よりもその色に色濃く染まってるのは大阪維新だと思ってます。その証拠に、国政政党でただ一つ所属の全国会議員に、日本会議の改憲署名の配布を義務づけているのは、大阪維新の会だけなんです。自民党でさえ、そんなことしてないんですよ。大阪維新の会だけがやってる。僕の本が出たあと、大阪維新の国会議員が、誰とは言いませんけども、ま、言わんとこ、（会場　笑）

菅野　言いませんけども、日本会議の職員と一緒になって、参議院会館の中で自公、維新、全員の事務所の中に僕に関する、怪文書をまいてるんですよ。やってることがものすごい幼稚で田舎臭いんですけど、「日本会議」というのは、特殊な思想で戦前に回帰してるんだという、ちょっとデマゴーギーな考え方を頭から除いて、あの人らは、おっさんらの中によくいる、「女、子どもは黙っとれ」ということを言いたい、左翼嫌いのおっさんなんやというふうに見てください。全部説明つきます。（会場　拍手）

阪口　単純明快な論理でよくわかりました。財務省が交渉記録は１年未満で廃棄したと、この点については宮本さん、国会で質問されて、どう考えたらよろしいでしょう。

パソコン開けたらすぐわかる

宮本　はい。「記録の廃棄問題」は、一番、焦点になってきたことですよね。忘れもしません、2 月 24 日、衆議院予算委員会、テレビ中継がありました。私は、この資料で「2014 年 9 月 4 日に午前 10 時から 12 時まで、こういう会議をやった記録文書がある、これ事実やっただろう、近畿財務局でやっただろう」と迫りましたが、佐川局長が「その

ような書類はすべて廃棄して、ございません」というので、「まさに隠蔽じゃないか」という話から始まったんです。去年 6 月 20 日に売買契約を結んだら、それ以前のものは全部捨てるんだという話でありますけれども、しかし、申し上げたように、10 年分割払いの契約をやってるんですから、払い終わってないですからね。（会場　笑）

宮本　それを早々と捨てたら、あとから払いが滞ったりして、訴訟になったらどうすんのかというようなこともありますから、全く不当だと言わなければなりません。その後も、今の加計問題でも、まさに文書問題が、大の争点になっていて、今、民進党からも「公文書管理法の改正」の提案があって、私たちもそれは大いに共同して、法案考えようじゃないかと、やっていますけれども、見ている限りにおいて、自分たちの都合のいいようなものは出てきますから、文書は残ってるんですよ。都合の悪い文書はなくなってる、廃棄したと言うてますけど、それは廃棄してないんで、今、再調査っていうことやってますけど、「調査のやり方をこれから検討したい」と。ばかなこと言うなと。（会場　笑）

宮本　そんなものパソコン開けたら中に入ってんの決まってんですわ、文科省の文書というのはね。余談になりますが、3 日ぐらい前に、私、松野文部科学大臣と、別件で会う機会がありまして、帰りに彼が僕に握手を求めるので、手を握った瞬間「ちょっとパソコンの中見してくれますか」て言うたら、凍りついて、「勘弁してください」て言ってましたからね。　（会場 笑）

宮本　本当にないんだったら、「どうぞ、どうぞ」と言うべきところ、「またまた、勘弁してください」と言うところを見たら、あるんだなと、これは。（会場笑）、（拍手）。

宮本岳志さん

宮本　誰が見ても、あるところにあるんだなと。だから、こんなものは直ちに表に出すべきであって、廃棄などはされてないものが、僕は大半だと思っております。

（会場　拍手）

阪口　参加者から、私ども「弁護士の研究者の会」の訴訟内容についての質問があります。

「大阪地裁にデータの保存せよ」という訴訟を起こしました。「デジタルフォレンジック調査」というのがあるんです。パソコンから消去しても、どっかに残ってるわけですが、それ以上消去しても、なお残ってるんですね。そのデータを全部保全、「デジタルフォレンジック調査をして、再現せよ」というものです。NHK もいろいろ問題ありますけれども、6 日の 12 時のニュースで報道されました。まあ NHK もいいところもあります。（会場　笑）

阪口　私どもがそういう訴訟を起こしています。国に対して「裁判所が答弁書を出せ」と、いうことで質問状を出しておるのですが、本当は削除はしていない可能性はあるのではないかと。恐らく、紙ベースではあるのかどうか。それから、パソコン上の情報として、Word とか Excel にあるのかどうか、もう一つは個人がいろいろ面談したときの筆記。例えば、森友学園の人とか、誰かから、国会議員から連絡があったときに、担当者がまず文書に書いて、それを必ず報告するわけです。国の省庁は組織ですから。そうすると、必ずパソコンに残っているはず。それを財務局長がしゃーしゃーと「全部廃棄しました。1 年未満だから直ちに処分した」とは言ってます。契約期間が 10 年になってるわけですから、まだ終わっていない。こんなばかな話はないということで、今、本訴と仮処分をしています。

宮本　一言いいですか。

宮本　考えていただきたいんですけど、犯罪捜査になったら、逮捕するためにはパソコンから消去しようが何しようが、それをデータ復活さして、ありとあらゆることやるわけですよ。

本当の消去はパソコンにドリルで

菅野　だから、小渕裕子さんはドリルで穴開けたんですね。（政治資金問題で家宅捜査前に）

宮本　そうや、そうです。（会場　笑）

宮本　小渕優子さんはパソコンにドリルで、だから、ドリルでパソコンのハードを破壊するようなことをしなければ、完全に消去できないわけであって、それを「消去しました」で済むっちゅうのは大きな間違いであって、しっかりそ

の点も追求していきたいと思っております。

阪口　菅野さん、何かありますか。

地方は文書管理しっかり

菅野　はい、二つあります。僕、この本書く前は 15 年、日本でサラリーマンをやってて、個人情報を大量に扱う会社だったんですね。そういう会社はご存じだと思いますが、P マークっていう経済産業省がやってる規格に合致しなければいけない。ISMS っていう国際規格があるんですね。これはものすごい文書管理規定っていうのがあるんですよ。よく大阪維新の人たちが、「民間では考えられない」っていうんですけど、僕はあの言葉大嫌いで、逆で、民間ですらそれぐらいのことするんですよ。それを役所がやってないことはあり得ない。昨日おとついびっくりした、加計の問題で、今治市が持ってる文書が出てきてるんですよ、民進党の調査で。それを国が持ってないって言うんですね。安倍内閣はずっと「明治以来の官制大改革」いうてるんですけど、今回、それが叶ったなと思いました。明治以来初めて中央政府より地方政府のほうが文書管理しっかりしてるということなるでしょ。　（会場　笑）

菅野　頭のええのはみんな地方におって、中央はアホばっかりです、いうてるようなもんやないですか。何が言いたいかっていうと、僕ら民間でサラリーマンやってる人間からしたらあり得ないんですよ。役所は僕らに偉そうに「ちゃんと管理せえ」というてきてるわけですから。やってないわけでしょ。政府の言い分を信じるんならば。今治市にあったもんが国にないというんでしょ。これ、モラルハザードなんですよね。誰もこんなんまじめに仕事しようと思えなくなりますよね。

会場　そうだ、そうだ。

菅野　あほらしいですよね。僕、来年の税務監査に捨てましたって言うたろかな。（会場　笑）

菅野　完さん

菅野　ねえ。で、領収書全部白紙で出したろかな。（会場　笑）、（拍手）

阪口　ありがとうございました。なかなか話が面白いので、もっと話してもらいたいぐらいですが。

阪口　文書の問題は、隠蔽そのものだと思います。当時、安倍首相は「私が関与していた、また、妻が関与していたら議員を辞める」と、見えを切りましたね。何であんな大見えを切ったんですかね。　宮本さん、どうですか　（会場　笑）

言いたい放題で追いつめられる

宮本　僕、籠池さんが証人喚問で谷査恵子さんのファックス暴露した直後に、よく「プライムニュース」か何かに出たんですよ。そしたら、「これは言いすぎなんだと、こんなこと言わなくてよかったんだ」、「関与してても金を受け取ってなかったら辞めんでいいじゃないか。それを、何でわざわざそこまで言いすぎたのか、リップサービスが過ぎたんだ」みたいなコメントをする人がいるんですけど、そうじゃないと思うんですよ。安倍さんの手法というのは、そんなふうに言い切ることによって、「そこまで言ってんのにまだ追求すんのか」といって逃げてきたんですよ。加計問題でも「もし私が圧力かけてたら責任取る、もし事実無根だったら、あなたどうするんですか」って、福島瑞穂さんに迫った（笑）。つまり、そのことによって、もう言わさないと。総理大臣が辞めるとまで言ってるのに、まだ追求すんのかと。そんなことやってるから支持率下がるんですよみたいなことを、（会場　笑）

宮本　言いたい放題言うてきたわけですよ。ところが、こうやって事実が出てきたら、まさにそれが自分の首を絞める結果になってる。そういう意味では、彼の策が裏目に出てるというか、彼の打った策を国民の側が、前川喜平前事務次官とか、籠池さんとか、最初は面従腹背だった、最初は仲よかったけれども、「もうこれは黙ってられん」っていう人が暴いてきた結果、逆に追い詰められる結果になっているということだと思います。（会場　拍手）

阪口　この点、木村さん、何かご意見ありそうですね。（会場　笑）**聞き入ってたらあかんで、あんた、パネラーやからな。**（会場　笑）

木村　パネラー？　いや～、忘れてました！　お二人のお話を面白いなーと思って、一聴衆になって聞いてました。あの安倍首相の発言、確か 2 月 17 日と思うんですが、民進党の福島伸享さんの質問に答えて･･･。僕、提訴し

たのは 2 月 8 日で、9 日、10 日の金曜日に明らかになって、13 日が月曜日で、それぐらいから追及が始まってね…。

宮本　私、15 日に始まりました。

木村　はい。（会場　笑）

木村　だから、あの安倍首相の発言があった時は、まだまだ余裕があった。僕がテレビかネットか見た率直な感想は「ぬるい質問しとんな、このおっさん」と思いながら見てたんです。さっきの振込用紙についても、「安倍総理が悪いと言ってるんじゃないんですよ。総理が悪いと言ってるんじゃないんですけれども、これ、ちょっと、どうなんですかねぇ」みたいな感じの、どう言ったらいいのか･･･。

菅野　あの福島さんは元経済産業省の頃、安倍の元秘書官だったんですよ。

菅野　民進党の福島伸享がね。これは癒着してることを言うてるんじゃなしに、文教族で厚生族の安倍晋三を自民党は育てなければいけないと。どうも頭が悪いと。（会場　笑）

菅野　経済産業省の役人の中で、政治的な判断ができて、頭のええやつをつけてくれといって、福島さんがつけられたんです、たった半年ですけど。そのときから安倍さんは福島さんに頭上がらへんのですよ。それを見越して、あの嫌みなしゃべり方をしている、あれはあの二人だったらわかる嫌みなんです。

打ち切りの手法と恫喝

木村　なるほど、そういうことやったんやな。そこまでわからなかった。率直な印象としては、「せっかくええネタあんのに、この程度しか突っ込まれへんのか」みたいなことを思いながら聞いてた。だから、別に、全然追い詰められた感じでもなく、答えに窮して、ケツまくって、開き直ってっていう感じではなく、余裕しゃくしゃくで答えてる流れの中で、「いや、もう、そんなもんね、私や妻がかかわってたら、これはもうはっきり言うときますけど、総理大臣はもちろん、国会議員も辞めますと、これは間違いなくはっきり言うときますから」と。だから、本当にびっくりしたんです。この流れで何でこんなこと言うんかなと思った。宮本さんがおっしゃったように、これはある種、恫喝やなと。「もう、絶対やってへんいうたらやってへんねん、はい、もう、この話これで終わり」という。

木村　真さん

宮本　つぶしたかったんです。

木村　でしょうね。それはすごく感じました。

菅野　ただ、思うのは、その手法は橋下と松井がやり続けてる手法ですよね。（会場　笑、拍手）

菅野　「俺がここまで言うてんねんから、何でおまえらわからへんねん」。それしか、基本、言わんでしょ。これ、松井と橋下がやり続けてる手法や言うんですけど、これは実を言うと、DV 夫のしゃべり方と全く一緒なんですよ。（会場　笑、拍手）

菅野　これ、女の人はわかると思うけど、モラハラするやつと DV するやつって、みんなこのしゃべり方するんですよ。「俺が言うんやから大丈夫や」。実を言うとこれが僕らが今、「右傾化」とざっくり言うてるものの本質やと思うてるんですね。10 年前に大阪、兵庫の人は、この言い切り政治、維新型のこの言い切り政治の洗礼を受けたと思うんですね。今、その焼け野原を大阪と兵庫は立ち上がろうとしてるんです。（会場　笑）

災禍が大阪から官邸へ

菅野　その災禍が、どんどん東へ上がっていって、今、箱根の山を越えて、官邸の中へ入ったのが安倍政権なんだろうなというのが、僕の認識なんですよ。実を言うと、いやいや、そんな言い切ったって意味ないからというこというのは、無理やり今日のテーマに結びつけるんではないんですけども、もちろん議員の先生方のお仕事でもありますけど、僕ら言論人の仕事でもありますよね。「おまえら言い切って何か言うたつもりになってるけど、何も言うてへんで。言うたことにはちゃんと責任取ってや」と、突きつけていくのは僕らの仕事ですよね。（会場　拍手）

宮本　つけ加えまして、その同じ口ぶり、つい最近聞きました。義家（弘介ひろゆき）という文部科学副大臣。（会場　笑）「私が確認していないものは、行政文書じゃない」と。

菅野　そうそう。

宮本　まあまあ、大体そういう人たちが、

（笑）。

菅野　そういう人たち。（会場　笑）

阪口　司会は要らんですね、これ。（会場　笑、拍手）。かけ合いで二人でやってもらったほうが。（会場　笑）

菅野　木村さんも。

阪口　ああ、木村さん。（会場　笑）

阪口　また、質問がたくさんきてて整理が大変ですが、「工事を請け負った藤原工業と松井大阪維新の関係とか、何かがあるんじゃないか」という疑問、質問があるんですけど、この点はわかります？

菅野　だったら面白いなと、僕、思います。（会場　笑）

菅野　維新が悪いと思うのは、土地取引とか、建物の契約とかではなくて、私学審議会で維新が悪いと思っています。行政を腐らせてしまった、この 10 年間で、大阪維新は。安倍の顔を見る中央官庁よりも、役所で暴れる、ほたえる、大阪府の役人も、市の役人も、維新のチンピラ議員たちにもう萎縮しまくってるんですよ、何言われるかわからへんと。これは、中央で行われたことは忖度だったかもわからへんけど、大阪、淀屋橋と天満橋で行われてるのは忖度ちゃいますから、恐喝ですからね。もう完全に恐喝。その恐喝で 10 年間、もう大阪市役所も大阪府庁も疲弊してしもてるんですね。だから、とおりづらい私学審議会の認可がとおってしまったし、もっと言わなければいけないのは、今になって大阪市は森友学園はおかしいとかいうてるでしょ。「うそつけ。おまえら、今まで、毎年監査しとったやないか」と。毎年、監査して、毎年、実地検査行って、なおかつ、保護者からこんなことされた、おむつそのまま持って帰らされた、イヌ臭い言われた、弁当捨てられたっていう声、聞いてるわけですよ。それをことごとく無視してたわけですよね。それを無視してたんは、森友学園と行政がもめたら、先生に怒られるという萎縮が、忖度ではなくて、萎縮、恐喝がずっとあった。そういう意味では、維新は悪いですけども、僕が調べたところ、今回のいわゆるコントラクト、契約の部分で、維新の政治家うんぬん、かんぬんっていうのはあったら面白い

し、言うてはる人ぎょうさんいてはるけど、なかなか見つからないし、その証拠に、籠池さんが維新好きやと思います？　（会場　笑）

菅野　あの人バリバリの自民党支持者ですよ。生まれてこの方、自民党以外書いたことないのが、あの人の取り柄なわけですから、もちろんいろんな先生とのおつき合いはおありでしたけども、ズブズブというのはないと思います。ただ、行政の側での維新というのは、ちょっと長い時間のかかるテーマだと思いますけども、必ず決着をつけるぐらい追いかけたいなと思っています。（会場　拍手）

宮本　維新の関係ですけど、

阪口　はい、どうぞ。

大阪維新は大々的に森友応援

宮本　ここに持ってきたのは、大阪市の資料ですが、24 年 2 月 21 日とありますから、2012 年 2 月 21 日、つまり 2・2・6 の直後ですけれども、このとき、維新は塚本幼稚園、森友学園を大の応援をしているときですよ。塚本幼稚園が隣の公園を使って子ども遊ばしていた。それで、地域の町内会が、塚本幼稚園の専有みたいなってるから、われわれ町内の者も使えるように、花壇を作ってくれという話になって、大阪市は一旦、そういう方向で動きかけたんですが、そのときには籠池さんがそれは困ると言った。そしたら、大阪維新の会の大阪市会議員、村上栄二と市位という議員 2 人が同席をして、大阪市に対して恫喝のような発言をした。「そういう工事は中止せえ、地元総意ではないんだ」と言って食ってかかった。そのうちの 1 人は、今もう福山のほうに行って大阪にはおりませんけれども、議員も辞めて次の選挙のために遠いとこ行ってしまってるみたいですが、この当時、自分のブログには、「そんなこと、もしやったら、俺がただではおかんぞ」みたいなことを書いていた大阪維新の会の市会議員がいたことからすると、当初、維新の市会議員、府会議員は、この学校、この教育勅語教育を大々的に応援していた事実はあります。

菅野　それはそうです。籠池さん側の証言からいうと、これは森友学園側から頼んだんじゃないんですよ。維新側から「言いに行きまっせ」って言いにきたそうです。

菅野　福山へ帰っているほうの選挙のポスター見たら「大阪で修行してきました」と書いてある。（会場　笑）

宮本　…修行？

菅野　修行。これ、福山市民やったら怒ると思うんですけど、大阪市民も怒らなあかんと思うんやけど、修行の場なんですよね。「橋下さんと同じとこにいます」言うたら通ってた時代があったわけやないですか。その結果、ネコでも杓子でも議員なれたわけでしょ。ネコでも杓子でも議員になれて、なったことを根拠に地元へ帰って、大阪で4年間修行してきましたって。大阪市政、大阪府政って無名のチンピラの修行の場かいって話ですよね。

（会場　笑）

菅野　大阪市民をだいぶ愚弄してる話で、ただ、ここ10年間、そういうことが大阪ではまかり通ってたわけですよね。今の自民党は圧倒的多数を議席で占めてますけれども、前回の衆議院選挙で当選してきた圧倒的多数の議員って、多分、その乗りですよね。安倍自民やったら政治家になれると。

宮本　もう一つ（笑）。その話で思いだした。

宮本　この議員が選挙に出たのは、福山の市長選挙だった。

菅野　市長選挙、そうそう。

宮本　だったでしょ。で、彼は負けたんですよ。だから、今、市長でもなければ議員でもないんですけど、この選挙で勝ったほうの人は、実は近畿財務局長をやっていた方です。

菅野　そうそう。

宮本　そやろ。（会場　笑）近畿財務局長やってた人間が福山の市長選挙に立った。それを追っかけるように、この人間が福山の市長選挙に立って争うて、この維新の市会議員は負けたわけで、とおったほうは近畿財務局長。

菅野　そうなんす。「縁は異なもの」言うてる場合ちゃいますけどね。（会場　笑）

木村　私学課、私学審議会に関連する学校利権・教育利権がらみの話で言うと、『週刊金曜日』が、摂津のJC（青年会議所）の顔役をしている維新の議員が森友に藤原工業を紹介し、その藤原工業の紹介で顧問弁護士の酒井さん、この人も箕面JCの理事長をやってたんですが、顧問弁護士もつれて来た、という具合に、維新系人脈が絡んでる。学校、たなざらしになってる土地とか建物を転がしていく、とような話が背景にあるんちゃうか。・・・みたいなことを書いてましたけど、そういう形での維新の関与について、どんなふうにお考えですか？

維新と森友の利害関係は不明

菅野　みんな、小佐野賢治と田中角栄のイメージを持ちすぎなんですよ。精巧なプロットがあって、児玉誉士夫みたいな人物がいて、ぐるぐるお金を回してると。信濃川河川敷を右から左に回してピーナッツが飛び交うみたいなことをみんなでイメージしすぎなんですけど、僕は、阪口先生も僕とおんなじだけの資料を読んではりますが、読めば読むほど、何で、こんなしょうもない話だろうという印象しか抱けないんですね。さっき、ちょっと話してたんですけど、維新との関与もあると思います。どういう関与かいうたら、例えば東京の人が「僕、彼のこと知ってるんだ」ともし、言うと東京の人は「あ、これは何らかの政治的メッセージだな」っていうことで真剣に受け止めます。で、この人は何らかの意図があって僕に誰かのこと知ってるっていうことを言ってきてるんだろうと。だから、そのコミュニケーションの裏を読もうとしますが、大阪のおっちゃんとおばちゃんは違いますよね。「知ってんねん、こないだ電話してん。」（会場　笑）

菅野　「こないだもあんなこと言うてはってん」っていうつながり。ただし、摂津JCがらみの人々の緊密さ、特に維新の足立議員を中心とした酒井弁護士、藤原工業、この3者の変なつながりというのは実際、あろうと思います。この変なつながりというのは、恐らく森友事件はワンオブゼムで、掘れば掘るほどいっぱい出てくるだろうなあと思います。だから、森友事件も、そのプロットによって動いたんだとは、にわかには断ぜられない。なぜならば、酒井弁護士の登場があまりにも遅すぎるんです。うがって考えると、酒井弁護士が摂津JC人脈でやろうとしていたのは、9億円の土地を1億円にすることではなくて、もう籠池のおっさん、あかんの目に見えてるから、あかんようになったあとの話のために入ってきたんちゃうんかなというように思えてならないんですね。これ、ほかに言わんといてくださいね。（会場　笑）

菅野　内緒の話ですよ。3月10日に籠池さん、記者会見しはりましたよね。僕が「あんたが菅野さんか」と言われ

る記者会見ありましたね。あれは、「今日、本日づけで大阪府私学課に提出していた設置認可を、自ら取り下げました」という話やったんです。取り下げるから記者会見すると。僕がそこで思ったんは、稲田朋美のだんなの稲田龍示が全部プロットを書いて、あの土地をただで手に入れようとしてんのかなと、当初は思いました。だから、それをぶつけたら、籠池さんは「違います」て言うた。言うたけど、そのとき、あの2時間の記者会見で1回だけお茶飲まはったんです。弁護士の名前を出したら。絶対弁護士やなと思うて、後日、「あれ、誰に知恵入れられて取り下げたんですか」と聞いたら、「酒井弁護士や」言うんすよ。酒井弁護士が「このままいったら藤原が倒産するから取り下げたってくれ」。そんなこと、普通の人やったら、「いや、そんなことないやん、関係ないやん」と思うじゃないですか。でも、当事者である籠池さんは、舞い上がってはりましたから、そういうこともあろうかということで、娘の町浪(ちなみ)さんに命じて酒井弁護士と一緒にはんこを持って大阪府に出向いて取り下げの紙に署名捺印して帰ってきてるんですね。不思議なことに、あんだけの資料の山をどんだけ探しても、その取り下げの紙のコピーがないんですよ。もろて帰ってきてないって言うんです。あの記者会見が終わるでしょ。籠池理事長と長男の佳茂さんが、こう下がって座ってはるでしょ。佳茂さんが終わったあと、酒井弁護士に、「これでよかったんですね」って言うたら、「はい、これでよかったです」て、酒井弁護士、言うたらしいんです。「これで藤原助かったんですね」って念を押したら、「いや、あれの件ね、大丈夫やったんすよ」。

(会場　笑)て言うたらしいですよ。これ、裏取ってないですよ。これはあくまでも息子さんの佳茂さんの証言だけです。

なぜ、取り下げたか

菅野　ということは、酒井弁護士は、どう考えても主体的にあの土地を手放すように、あの案件を手放すように顧問弁護士の立場でありながら、設置認可の申請を取り下げる助言したわけです。そのとき、酒井弁護士は大義名分として、「このままいったら設置認可がとおらないから」ということを言うてたらしいです。もしとおらなかったら、森友学園が財務省なり大阪府なりを相手取って損害賠償請求すればいいだけの話であって、本来、弁護士であればそれを助言するはずですよね。なぜかしら、そういう助言をしている。これは極めて不思議です。もしこれが籠池さんサイドの話のとおりであれば、酒井弁護士は懲戒請求されても不思議じゃないと思いますね。

阪口　**ありがとうございます。森友問題は大変深まってきたんですが、次の質問「加計学園問題はいったいどういう問題なんだ」があります。これは、宮本さん、お願いします。**

森友問題よりはるかに巨大

宮本　ご承知のとおり、加計問題というのは、文部科学省は、金曜日に文書の再調査ということを言いました。ただ、これも安倍内閣のお尻に火がついてきているということです。このまま、「調査しない」と開き直ってると、支持率が急落する恐れがある。目前に迫っている都議会議員選挙で惨敗する恐れがあると。だから、とにかくこの国会、共謀罪法を強行して早く閉じなければならんと。加計学園の追及をかわさなきゃなんない。僕が見たところ、恐らく再調査中、再調査中と言い続けて最後まで逃げようという策略だろうと思っております。そこまで、世論が追い詰めてきたと思います。この問題は、森友問題よりはるかに巨大です。

一気に結末へ

宮本　そして一気に結末までいったわけです。前段では、「友達やから優遇したんじゃないのか」、「森友そっくりやないか」っていう質問がずっと繰り返されてた。ただ、そっくりだからといって決め手に欠けますから、みんなじりじりしてたわけですよ。その入口のところで、福島瑞穂さんの質問に対して「そんなもん、もし私が圧力かけてたら責任取りますよ、あなた、学校の名前まで出して責任取れるんですか、事実無根だ」ってなこと言って逃げようとしたわけですよ。ところが、最終盤になって、あの文書が出てきた。「総理のご意向。官邸最高レベルが言ってんだ」と。こういう話でありますから、一気に、間にいろんなもの挟まずに、「ほら見ろ、やっぱり圧力かけたじゃないか、総理の意向で決まってるじゃないか」って話になった。しかも、籠池さんの場合はただの民間人。この加計問題のほうは前川喜平、前文部科学事務次官で、1 月まで国会で、

役所で事務方トップだった人だし、天下りあっせん問題では何度も国会に来て答弁した人です。民間人だから呼べない人じゃなくて、今、出てきてもらって語ってもらうのに何の問題もないのに、ここが今、ネックになっているんです。

岩盤の穴は誰のため

早い話がこの問題の焦点は何かというと、岩盤規制に穴開けて、五十何年ぶりに獣医学部を認可した。「岩盤規制に穴開けて何が悪いんだ」と開き直っていますね。岩盤規制に本当に穴開けてもいい岩盤かどうかは、よく見なあかんのですけど（会場　笑）

宮本　岩盤に穴開けるってことを一律に問題だという話ではない。開けたほうがいい穴なら開けたほうがいいんでしょう。しかし、今回のこの岩盤規制に開けた、この穴というのは、加計学園、加計孝太郎さんしか通れないように、加計孝太郎さんの顔の形に穴を開けたと。（会場　笑）

宮本　ぴったりパズルに合うように。だから、京都産業大学もだめにした。僕は金曜日、大阪府立大学獣医学科に行って、詳しく聞いてきました。ここは既に学部があるんですけど、定員が 40 名のところを 60 名に、あと 20 名増やしたいと申請したけど、こんなん全然だめ。増やす条件ないと。ほか全部却下です。どういうわけか、この加計のところに落ちた。じゃあ、そこへどんなかたちで加計さんしか通れない穴にしたかっていうと、二つあって、広域的に獣医学部がない地域に 1 校に限るとした瞬間、京都産業大学は、府立大学があるからだめと、はじかれたのが一つ、もう一つのフィルターは、来年 4 月開校という条件つけた瞬間、もう準備してないところは、土台無理なんですよ。早い話が、信じがたい話ですよ。だって、今年の 4 月の 20 日頃に加計さんとこに、決定してるんですけど、来年 4 月、大学作らなあかんわけです。で、森友でも「条件付き認可適当」出てからでも、やっぱり無理で 1 年、2 年伸ばす話なったじゃないすか。今度は、これ、大学ですよ。1 月の 20 日時点、加計に決まった瞬間、学校法人加計学園は今治市に土地を持っておりませんでした。まだ、今治市の市有地だったんですよ、1 月時点では。3 月 3 日、3 月議会の冒頭で 37 億円分の市有地をただで無償譲渡してやるということを議決して、やっと、何の議論もなくただただ裁決だけやってくれてやった。おまけに 64 億円つけて今治市が応援してやるという話になっていくんですね。これはむちゃな話なんですよ。土地も持ってないところが 1 年後には開学するなんてできるわけがないんですが、それをやらせたと。だから、この文書、内部文書見たら、文部科学大臣は「ちょっと無理じゃないですか、18 年 4 月開学は。19 年 4 月にすべきですよ」と。こういう意見を上げてるわけですよ。ところが、内閣府からは、「いや、これは総理のご意向だ。来年 4 月、18 年 4 月開学から逆算して仕事せえ。おまえらはそんなこと言う立場じゃないんだ。総理がもうそこで決めてんだから、それに間に合わすために仕事せえ」と言われて、これまたスケジュール表まで作らされたと言うてますけれども、全部そこに合わして走らされてるわけですね。

男たちの悪巧み

結局、これも安倍さんのご意向に沿って、安倍首相の腹心の友といわれる加計孝太郎さんに便宜を図ったということです。一昨年の 12 月の安倍昭恵さんのブログには、安倍首相と加計孝太郎さんのワイングラスか何か持って「男たちの悪巧み」という写真が載ってます。（会場　笑）

宮本　そういう悪巧みをして、加計孝太郎さんに落ちるように制度設計したとしか考えられない。そして、「そうなんだと、そういう圧力があったんだ」と文部科学事務次官が語ってるわけですから、これは明らかにしなければ絶対、国民は納得するわけにいかない。そして、その人を何かうさん臭いとか犯罪者扱いするところに、本当にこの内閣の体質が示されていますし、そんな内閣に逃げ切りのように共謀罪を強行する資格は断じてないということを申し上げたい。（会場　拍手）

阪口　ありがとうございます。ここの会はメディアを監視をする会なんで、（会場　笑）

阪口　加計学園問題で、読売新聞が、前川氏が出会い系サイトに行ってるというのを大きく報道した。

菅野　サイトちゃう。出会いカフェ。

阪口　カフェか。（笑）。そういうマスコミの在り方について、森友問題も含めて。菅野さん。NHK が前川問題のビデオも撮ってあるのに報道してないとか、そういうことがあるんですか。

ＮＨＫの報道

菅野　こないだ記者仲間と話をしてたら、ほんまに加計、前川さんのインタビューを撮ってたのも、あの文書を知ってたのも、ほんまの話らしいです。朝日新聞は加計の問題を朝刊にどんと出しますが、NHK が夜のニュースにちらっと流したんすよ。アリバイ作りかのように。しかし、その中ではあの総理のご意向文書が映ってるんだけど、「総理のご意向」のとこに墨が入ってるんすよ。この墨は NHK が入れてるんですよ、恐らくね。でも、そのニュース原稿の中に加計学園の「か」の字も出てこないんす。

阪口　読売新聞は。

読売・毎日・「日本会議」

菅野　今、それをどない説明しようかな思うて。あれ、完全に新聞としての死ですよね。だって、官邸がこう書けって言うたとおり。「あれは大本営発表みたいや」って論説してるんですけども、別に肩を持つわけやないですが、大本営は「あれを書くな、これを書くな」とは言いましたけど、「これを書け」って言うたことないんですよ。大本営が言うてたことは、「この情報をおまえらに与えるから、書くのかどうかはおまえらの自由だ」と。書けとは言わないですよね。書くなとは言うけども書けとは言わないんですけども、今の官邸は、「これを書け」って言うわけでしょ。読売新聞は、それを唯々諾々として書くわけでしょ。これ、もう完全に新聞の死でしかないですよね。僕はその問題で言論の死だという論説をあちこちで書きました。これ、ちょっと皆さんに見てもらいたいんですけども、貴重な資料でございます。見にくいかもわかりませんけども、下、見れますかね。「全国民の声を無視する毎日新聞を買わないようにしましょう」って書いてあるんですね。これ、誰が配ってたビラかっていうと、今から約 40 年前に「日本会議」の前身である「日本青年協議会」が元号法制定のときに配ってたビラなんです。元号法制定運動のときに、何をやったかっていうと、新聞の上に昭和何年、平成何年って日づけ載りますよね。新聞って大概、2017 年、括弧、平成 29 年何月何日って書いてあるんですけども、このとき、毎日新聞は、元号めんどくさいから、西暦だけでいこうって元号をなくしてたんですよ、元号法制定前にね。そしたら、「日本会議」の人が怒って、「毎日新聞へ抗議の電話をしましょう」という運動やったわけです。で、毎日新聞、これでひよるわけで。何でこのスライド、皆さんにお見せしようとしたかというと、「日本会議」の人たちは言論の力で時代の空気を作ってる話を、先ほど、本の話でしましたけど、彼ら、この運動好きなんですよ。次の僕の本のテーマになる予定の「NHK 番組改変問題」ってのがありました。安倍晋三と中川昭一が NHK の従軍慰安婦の番組に介入したという問題ですが、あれもそうなんですけども、彼らは、メディアは市民からの声に弱いってことを知り尽くしてるんですね。読売新聞、産経新聞みたいなことを書くのは、言論人というか、筆を持つ人間としては恥でしかないですよ。あんなもん、恥辱なんですよ。でも、その恥辱を平気でやっていけるのはなぜかっていうと、応援の声が届くからです。そうすると、あれを恥辱だ、産経新聞や読売新聞のようなことをやるのは恥辱だということをちゃんと理解できる市民の皆さんがやれることは、いい報道をしたら、おほめの言葉をメディアに届ける。だめな報道をするとこまめに抗議する。だって、「日本会議」はそれで天下取ったんですから。彼らは 3 万人しかおらんのですよ。それがこれできるんです。

「日本会議」、今日のようにこんなに人集められませんよ。

（会場　笑）

メディアを市民の側に…激励を

菅野　いや、ほんまに。皆さんのほうが、多分、パッションもモチベーションもあると思うので。例えば、昨日今日ですと、官邸の菅官房長官ブリーフィングで孤軍奮闘の戦いを見せている僕の盟友である東京新聞の記者がおりますが、固有名詞を出すのはあれですけども、お調べになったらわかると思いますけども、彼女に叱咤激励の声を東京新聞、中日新聞に届けてあげる。あるいは NHK が勇気を持って、最近、文部省の動き、加計の問題やってますけど、「NHK よくやった」って声をかけてあげる。だめなことしたら怒るよりも、よかったらほめてあげるってほうが重要やと思うんですね。いい報道が出たらほめてあげる。いい質問をしている記者見つけたら、あんたとこの記者いいねとほめてあげることを、僕は地道に続けていくこと、それと、菅野の本を 1 冊でもたくさん買うことが・・・。

（会場　笑）

阪口　質問の中でも「メディアの改善のためにどうしたらいいのか」というのがありましたが、見事に答えていただきました。最後に、森友及び加計学園問題も含めて、どういうことをわれわれがすべきなのか、また、したほうがいいのか。木村さんから。

木村　メディアの話で言うと、大阪と東京でずいぶん温度差あるんじゃないか。それと現場の記者と、もっと上の段階で相当温度差あるんじゃないか、という印象です。この間、僕も取材をたくさん受けたんですけど、3 月に産経新聞から取材に行きたいと電話かかってきました。こっちは「産経新聞が、何しに来よんねん」っていう気持で･･･（会場　笑）。

僕の事務所、見られても何もないよ。（会場　笑）

木村　若い社会部の人が来はったんですけど、ごく普通のこと尋ねられて、「ほんならこの辺で」となったときに、「いや、率直に言いますけど、僕、産経新聞が来るいうことでめちゃ構えとったんです」と言ったら、「いや、それは時々言われるけど、東京の政治部とかは別にして、大阪の、それも社会部とか別に関係ないですよ」と言われたんです。ぶっちゃけた話で言えば、産経新聞に行ってる人の中の相当数は、例えば朝日新聞受けたけど落ちた人とかも混じってるとか･･･。（会場　　笑）

社の方針はあるとは思うんですけども、現場の記者はみんな、それなりに頑張ってはるんやろうし。NHK の人も大阪の NHK はすごい頑張ってるなっていう印象を持ってます。

裁判の傍聴にご参加を

木村　今後のことについては、去年の 9 月に開示請求したら黒塗りで出てきた件で、今年の 2 月 8 日に提訴しました。その後、もう黒塗りなしの契約書が、国会でオープンにはなってるんですが僕の手元には届いてないんです、それで裁判が続いてます。厳密に言うと裁判そのものは「公開せえ」ということでなくて、去年の 9 月に「一部非開示」という決定が出ていて、「その決定の取り消しを求める」という裁判なんです。そうしたら国のほうが争ってきたんです。平たく言えば、「去年 9 月の時点で非開示と決定した、その決定に誤りはない。その後、公開したのは、不当に値引きしてるかのような誤った印象、疑念を抱かれてるんで、それを払拭するためにその後公開したんであって、当初、非開示と決定したその決定には誤りはない」ということで争ってきてるんです。結構面白い裁判になりそうです。当初、電話でイケダさんとやり取りしたときに、イケダさんがはっきり「相手方が公開しないでくれって言ってる」と言ってたし、その後、国会での答弁でも森友側が非公開を強く望んだと説明してましたけども、籠池さんは、「いや、自分はそんなこと言ってない。むしろ、財務省のほうから非公開にもできますけどどうしますかと言われたから、ああ、そうだったら非公開でと言っただけです」と言っていて、そこが食い違っています。それから、「森友側の正当な利益を損なう恐れがある。それで非公開にした」と言ってるんですけども、その正当な利益って何やねんと。こちらに言わせると、それは不当な利得なんであって、そこも争点になってくるということで、森友問題の土地売却に関して言えば、核心的な部分で争いになると思いますので、面白い裁判になりそうです。8月 17 日の午前 10 時半から、大阪地裁の 202 号大法廷で開かれますので、ぜひ傍聴にお越しいただきたい。

松井知事の責任追及も

木村　6月 15 日の公判では、3時半からの公判の前、昼の 12 時から 1 時までの間、大阪府庁前で「松井、出てこい！」ということで、（会場　笑）、抗議行動をやります。

木村　松井知事の責任を追及する街頭集会です。松井知事は完全に他人事のフリをしてますよね。「こっちこそ国に振り回されて、えらい目におうたわ」みたいな態度です。とんでもない話やなと。松井が一枚かんでたに違いないということで。国会の証人喚問も「いやあ、国会に僕を呼んでくれたらいいんですよ、いつでも行きますよ」とかって言ってた。　（会場　笑）

署名にもご協力を

木村　それは呼ばれないとわかってたからで、大阪では、大阪維新の反対で、百条委員会の設置もできないという状況なので、松井知事の責任を追及するということです。あと、お配りの資料の中に、署名用紙が入っています。近畿財務局を背任罪で刑事告発してますが、高度に政治的な問題ですので、放ったらかしにされる恐れもありま

す。厳正捜査を求める署名を集めていますので、ご協力いただきたい。いずれにしても、森友問題は、「終わってない」じゃなくて、「始まってない」と言いたい。しかるべき人物にしかるべき形で責任を取らせる作業を、みんなの力でやっていかなアカンと思っています。(会場　拍手)

阪口　時間がもう迫って、宮本さん、一言。(会場　笑)

宮本　皆さん、知ってます？3 月 10 日の記者会見では、籠池さんの息子さんに、木村さんは「反社会的集団なんですよ」と言われた人。それを共産党と朝日新聞が応援して、よくここまで頑張ってきたと、(会場　笑)

宮本　思っとりますが。メディアの問題、一言だけつけ加えますと、5 月 3 日に安倍首相は読売新聞に改憲の構想を打ち出しました。5 月 8 日、国会の場で読売新聞を熟読してほしいという答弁をいたしました。真に受けて自民党の議員たちは熟読したそうでありますが、(会場　笑)

宮本　そうすると、5 月 22 日に前川喜平さんが出会い系バーに出入りしているという記事が 1 面に載って、ああ、こういうことだったのか、これは、そういう前置きだったのかと思ったというぐらい、読売新聞はもう自民党の機関紙のような状況にまで堕落してると言わなければならないと思います。メディアにかかわって、私、遺恨のあることがありまして、もう一つだけ言っておきたい。フジテレビの番組で、私はあるジャーナリストと激しいバトルになりまして、山口敬之という(元)TBSの…(会場　笑)

宮本　森友問題で私が語ってるときに、横から「籠池さんとは何で組んだんですか」とか口を出し、「組んだ覚えはない、証人喚問で堂々と向かい合いましたけど、別に私は籠池さんと仲間になったわけではない。真実を明らかにするためにやり取りしただけだ」というのに、食ってかかってきた。そのときはそのときだったんですが、そのあと、私の部屋にアポなしにやってきまして(笑)、翌日、質問の準備やってるというのに、「とにかく会ってくれ、わびたいから」と言うから出ていったら、わびるどころか、また議論ふっかけてきて、いや、もう、帰ってくれと追い返した。それ、全部 IC レコーダーに取ってて、あとから、「宮本というのは部屋に逃げ込んだと。人間のくず」だと言われました。(会場　笑)

宮本　それはほっといたんです。私は安倍首相と対決してきたんで、横から、「さあ勝負と言われて、あんたと勝負するつもりはない」と。(会場　笑)

宮本　今、ご承知のとおり、この方の準強姦罪が明らかになって逮捕寸前で官邸の力、当時の警視庁刑事部長の中村なにがしの力を借りてもみ消したことが問題になっています。勇気あるその女性が検察審査会に告発しています。この問題でも、官邸に覚えめでたい人間なら逮捕をもみ消してもらえるんですよ。そして、ひとたび官邸ににらまれたら、この間まで事務次官やってても、こんな男、怪しい男だと言われるんですよ。そんな内閣に共謀罪法なんて渡すわけにいかないじゃありませんか。
(会場　拍手)。

文科省には「喜平隊」がいっぱい

宮本　財務省の職員と、今、加計で私のところに呼ぶ文科省の職員では、全然違うという感触を得ております。財務省は森友で呼びましても、職員自身が全部、佐川理財局長みたいな人ばっかりです。文科省は違います。「喜平隊」というんですけど、前川喜平さんの喜平を取って「喜平隊」と呼ばれる、前川さんを信奉する人たちが残ってる。私の部屋に来て「私、喜平隊です」って言う人、いっぱいいます。(会場　笑)

宮本　今、現役職員も語り始めた。それは何でですかと聞かれますけれども、私は銭金ばっかり相手にしてる役所と、子どもを相手にしている役所では、それは違うでしょうよと、こう文科省を一応ほめてあげてるんですが、(会場　拍手)

宮本　「財務省が何であそこまでえげつないのか、佐川という人は、何であんな冷血漢なのか」とよく聞かれるけれども、これは少し背後の闇の動きがありまして、菅野さんから安倍さんに経産省の役人があてがわれている話がありました。安倍さんは今、経産省優遇なんです。経産省優遇で今井さんも経産省、谷査恵子さんも経産省。経産省は官邸に一番食い込んでる。そのおかげで消費税増税が二度にわたって先送りされてしまった。財務省は何があろうが消費税増税したいと考えておりまして、今度の佐川局長の働きによって、次の増税はできるのではないかと、彼らはそう考えてる。そんなことでわれわれの暮らしにかかわる問題が決められてたまるかっていうのが、皆さ

んの思いだと思います。（会場　拍手）

宮本　これらは本当に今の目の前の政治問題に絡んでいるわけでありますから、共謀罪の廃案、安倍内閣の打倒まで、皆さんとご一緒に頑張り抜いてまいりたいと思っております。（会場　笑）

阪口　ありがとうございます。一言が三言、四言になりました。（会場　笑）

阪口　最後に菅野さんに一言。これこそ一言でお願い。

菅野　あと2時間ぐらいしゃべろうかな。（会場　笑、拍手）。

安倍政権は議会制民主主義へのクーデター

菅野　国会はこの18日で会期末を迎えます。この国会で、森友問題で明らかになったこと。われわれ及び野党が出せという資料を政府はあざ笑うかのごとくすべて無視して出してきませんでした。加計問題。政府はウソにウソを重ねて、内部文書の存否についても、「実名等をさらして顔を出せば逮捕してやる」と。まるで脅迫のようなことを言っています。共謀罪の恐怖。政府はわけのわからん法務大臣に答弁をさせ、法務大臣は答弁することがほぼ不能で、政府委員をして答弁をさせてる始末であります。これらのことが明らかにすることはただ一つ。「国会が完全にばかにされてる」ってことですね。憲法は、明確に国会を国権の最高機関と規定しています。それはなぜか。国会に座ってる人が皆、普通の人々によって選ばれた人、所だからです。日本は主権在民の議会制民主主義の国です。安倍政権が今やってることは、この原理原則を無視するクーデターと言わざるを得ないと思います。

会場　そうだ！　（会場　拍手）

菅野　ここから先は、宮本先生と意見は対立するかもわかりませんが、僕は、野党議員がこれ以上国会の審議に協力することは、このクーデターへの加担だと思っています。（会場　笑、拍手）。

街へ出よう

菅野　潔く審議拒否をして、安倍内閣がやってることが議会制民主主義のじゅうりんであり、民主主義の根幹を崩すひどいことだと、野党の先生方は市民と一緒に声を上げてもらいたいと思っています。（会場　笑）

菅野　しかし、それはそれぞれの政党のご意向、国会の戦略があるから、かなわない夢だと思っていますが、僕は最後に、宮本先生にも聞こえるように、それから、いろんな野党の議員の先生に聞こえるように、議員の先生には「街に出ろ」と声をかけたい。（会場　拍手）

市民運動は効く、安倍政権は砂上の楼閣

菅野　そして、「街に出ろ」というかけ声を、皆さんにもかけたいです。僕は「日本会議」を研究しましたから、よく知ってます。市民運動って効くんです。あきらめなければ効くんです。メディアにも声は届くんです。政治の現場にも声も届くんです。安倍内閣は強固に見えます。しかし、メディアがひるんでるから強固なんです。安倍内閣は砂上の楼閣にしかすぎません。

会場　そうだ。（会場　拍手）

菅野　メディアの人間が皆さんの声に支えられて勇猛果敢に戦うことができれば、野党の議員が皆さんたちの声に支えられて勇猛果敢に戦うことができれば、砂上の楼閣たる安倍内閣なんて、一晩でつぶれてしまいます。

会場　そうだ。（拍手）。

安倍内閣打倒は民主主義をとりもどす闘い

菅野　安倍内閣の打倒そのものが目的ではないんです。このたたかいは、われわれの手にもう一度民主主義を取り戻すたたかいだと思っています。（会場　拍手）

菅野　僕はこの戦いに必ず勝てると思います。あきらめないでこれからも頑張っていきましょう（会場拍手）

阪口　ありがとうございました。これをもちましてこのパネルディスカッションを終わりたいと思います。

3名の方に再度、拍手を。（会場　拍手）

「第 41 回メディアを考えるつどい」アピール

2017 年 6 月 10 日

「森友学園事件　政府とメディアの幕引き許さない！」シンポジウム

私たちは、きょう、西宮勤労会館で「森友学園事件・政府とメディアの幕引き許さない！」をテーマにシンポジウムを行いました。　森友学園事件追及の第一線で活躍しているパネリストによって、事件の問題点が明らかにされました。

森友学園事件は、鑑定価格 9 億円余の国有地が 8 億円も値引きされて払い下げられた問題だけではありません。総理夫人・安倍昭恵氏が教育勅語を礼賛するなど教育基本法の理念に反する教育をすすめる「瑞穂の國記念小學院」の名誉校長に就任したことへの批判とあわせ、婦人付きの政府職員を介して国有地の払い下げに深く関与していた疑惑も指摘されています。

安倍首相の進退がかかる重大疑惑にもかかわらず、安倍夫人は沈黙を続けており、政府は財務省理財局の公文書を廃棄したと繰り返すなど、この事件の幕引きを図ろうとしています。

疑惑は何も解決していないのに、ＮＨＫをはじめとするメディアも安倍政権の意をくんだかのように報道を控えるようになっています。メディアは政権におもねることなく疑惑の追及をすべきです。

私たちは、この事件の解決のために安倍昭恵氏ら関係者の国会証人喚問を求め国有地の格安売却など、森友学園をめぐる一連の疑惑を徹底究明することを求めます。

そのための活動として、「証人喚問を求める署名」と「国有地売却疑惑の徹底した捜査を求める署名」の二つをおおきく広げ世論に訴えていくことを提案します。

さらに、森友学園事件に続いて浮上した加計学園問題は、安倍政権による公有地の私物化、政治の私物化という同じ問題であることが新たな証人によってもあきらかになりました。

また、安倍首相は５月３日、「日本会議」系の改憲集会に、「自衛隊の存在を憲法上に明記した 9 条 3 項を付け加える」というメッセージを送りました。

森友学園事件は、戦争する国へ憲法を改悪し、教育勅語を礼賛する戦前回帰の教育を実践しようとする「日本会議」のたくらみが明るみに出た事件です。

私たちは民主主義を守り、憲法改悪を許さないためにがんばります。

参加者一同

「安部昭恵氏ほかの国会証人喚問を求める署名」8671 筆

6/20 衆参両院議長に提出

ご協力ありがとうございました。

6 月 20 日、醍醐聰さん（「視聴者コミュニティ」共同代表）と渡邉力さんが、全国からの署名を集約し、衆議両院議長へ秘書課を通じて提出しました。扱いは、次期国会で委員会への「陳情」として受理されるとのことです。醍醐さんは、国会閉会中の審査で迅速な取り扱いをするよう要望しました。

全国署名数	**8621 筆（5/20～6/19）**	（うちネット署名 927 筆）
うち兵庫の会	**2600 筆（30%）**	**250 通**（一部締め切り後も）

約 1 か月間の短いとりくみでしたが、「視聴者コム」の呼びかけに応じ、全会員に署名を訴えたところ、すぐに、たくさんのご協力を頂けたことは、「森友事件」への市民の批判がいかに高いかが示されたものと考えています。

「加計問題関連文書の徹底調査と安倍晋三氏ほかの国会証人喚問を求める」署名

新しい署名運動にもご協力を

（用紙はニュースに同封しています）

＊ 森友学園・加計学園をめぐる一連の疑惑を徹底究明することを申し入れています

＊ ネット署名は： http://bit.ly/2rOxgOd へ。メッセージもよろしく

＊ 署名集約先 650-0022 神戸市中央区元町通 6-7-6 茶本ビル５Ｆ 078（351）0194
NHK 問題を考える会（兵庫）

6 月 13 日 東京でも開催（報告）

「森友・加計問題を考えるシンポジウム」に 300 人

コーディネーター　　パネリスト

醍醐 聰
東京大学名誉教授

小川敏夫
民進党参議院議員

宮本岳志
日本共産党
衆議院議員

杉浦ひとみ
弁護士

青木 理
ジャーナリスト

満員の衆議院第一議員会館

★財務省は公証記録を公開せよ！
★安倍昭恵氏ほかの国会証人喚問を！
★メディアは疑惑の真相解明に迫れ！

あとがき

6月10日「森友学園の政府・メディアによる幕引き許さない！」シンポジウム（西宮勤労会館）は、安倍総理夫妻がからむ事件として、疑惑追及の第一線で活躍している３人のパネリストの話しに期待が大きく、定員４００人に対して５００人以上の申し込みがありました。「パネラーはベストチョイス」（宮本岳志議員）と言われ、超満員の参加者は、真相追及のリアルな報告に、大きな拍手を送りました。パネラーの話に、「そうだ！」と共感の声や笑いが起こり、活気あるつどいとなりました。

今回、会場の狭さから、「申込制」をとりましたが、初めての経験のため予約者への返事が不十分など、不手際がありました。今後の教訓と致します。安倍政権の政治の私物化は「加計問題」でますます深くなっており、「森友事件」と合わせ、引き続いて「メディアと政府の幕引き許さない！」世論を大きくしていきましょう。菅野完さんが明言しました。「メディアが皆さんの声で立ち直れば安倍政権は一晩でつぶれる。」